



令和3年9月28日

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
TEL: 075-354-8701

〔京都市都市計画局まち再生・創造推進室〕
TEL: 075-222-3503

京町家まちづくりファンド

～ 寄附促進のための情報発信コンテンツを新たに制作 ～ WEBメディアによる発信について

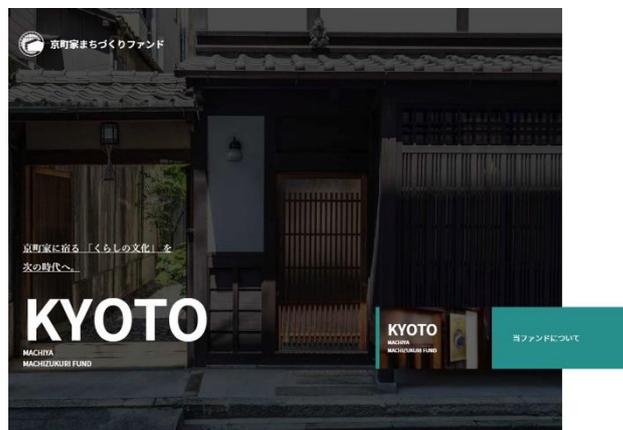
公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターが運営する、京町家まちづくりファンド（以下、当ファンドという。）では、市民の皆さま及び企業からの御寄附を募り、京町家の保全・継承に向けた外観改修助成や普及啓発の活動を実施しています。

この度、京町家を次の時代へ守り継ぐことの大切さを、より広く多くの皆さまへお伝えできるよう、京町家の継承を支え、暮らす人々の声を届ける情報発信コンテンツ（特設WEBサイト）を制作しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 特設WEBサイト開設の目的

京町家は、京都のくらし、空間、まちづくりの文化が息づく、千年の歴史をもつ都市住宅です。新規に開設する特設WEBサイトを通じて、国内外の企業や個人の方に、京町家を保全・継承することの意義を発信し、京町家の価値を共有することで、より一層の当ファンドへの寄附促進につなげることを目的としています。



2 情報発信コンテンツの内容

(1) 京町家まちづくりファンドの紹介及びオンラインシステムによる寄附ページ

くらし、移住などの視点から、当ファンドの助成により改修された京町家の所有者・居住者へのインタビューを行い、京町家の魅力を伝えるライターによるエッセイ記事を特別企画として連載します。



▲ TOP ページイメージ

イ 寄附者の御芳名や一部の寄附者による応援の声を掲載します。寄附控除の対象となることを御案内し、新たに導入したオンライン決済システムにより御寄附を募ります。

ウ 寄附者向け行事，改修助成事業の募集等を御案内します。



▲ 改修した京町家での取材写真

ご寄附をいただいた方の声



京都は多様なものや異なる文化に対して寛容な街です。常に新しいものを取り込みながら、時代にあわせて、柔軟に変えていくところが非常に魅力的です。単に、古い街並みを守ってだけでなく、新しいライフスタイルにあわせて変えること。更に、外から来た人達も同じように安心して快適に過ごせるような街並みに変えること。それが、地域の活性化につながると思っています。

高藤 成雄 様 (公益財団法人 日新電機グループ社会貢献基金 理事長)



京町家まちづくりファンドは寄附金控除の対象となる基金です。事業収益の還元先として、せっかくならば「京町家を次代に残す」という目的が明確な取り組みに寄附したいと考えました。蓄えのような「性根面」とは違つ、京町家の「感性的な良さ」が、もっと広く知られて欲しいと思います。

西村 孝平 様 (株式会社八海 取締役会長)
※個人としてのご寄附

▲ 寄附者からの応援コメント掲載イメージ

(2) 京町家まちづくりファンド改修助成事業の実績紹介

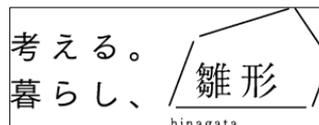
平成18年度から令和2年度にかけて支援した91件の京町家の改修と通り景観の修景をギャラリービューで一挙に御紹介します。改修された京町家は住居を中心に、町会所、店舗、ギャラリー、工房、宿泊施設など多様な京町家の暮らし、営みの場として住み継がれています。近年は町内会で景観保全に取り組む通り景観の修景へも支援をしています。



(3) 外部WEBメディアとのタイアップ記事の公開

移住、仕事、文化、社会、地域医療、家族のかたち。変容する暮らしの中で、心身で感じた違和感で立ち止まり、観察することから、暮らしを考えるライフジャーナル・マガジン「雛形」

(<https://www.hinagata-mag.com/>) に当ファンドの活動に関する記事を掲載し、外部メディアと連携した発信を行うことにより、当ファンドの特設WEBサイトへの誘導を図ります。記事には改修工を手掛ける大工さん、京町家へ移住された御家族のインタビューを公開します。



▲ インタビューの様子

3 開設日及び URL

令和3年9月28日(火) 10時

<https://kyoto-machisen.jp/fund/>



<お問合せ先：受付窓口>

(公財) 京都市景観・まちづくりセンター

電話：075-354-8701 FAX：075-354-8704

京町家まちづくりファンド特設WEBサイト：<http://kyoto-machisen.jp/fund/>

京町家まちづくりファンド 検索